

平成26年12月議会一般質問 追加報告

防災対策について

質問(冬をむかえ大雪に対する防災対策について、町の考え方をお聞きします。)

①町の除雪体制について

②雪の捨て場について

③防災行政無線による住民への周知について

④山間部道路わきの倒木対策について

答弁(①除雪体制について

町の事業として町が指定した19路線に対し、10cm以上積雪した場合除雪を開始する委託契約事業者12社協力2社と契約を締結。また行政区において自主的に除雪を実施した場合補助金を交付。今年度より、秩父県土木事務所管内で除雪連絡協議会を設置し、大雪にそなえ連携することになった。

②雪の捨て場について

親鼻、栗谷瀬、旧母子センターの河川敷きを候補地とし、又地域で利用で

きるところを検討する。

③防災行政無線について

人命にかかわる情報を最優先し、孤立集落の要救助の安否確認、除雪状況、交通止めなどの道路状況、停電、気象情報などと同時にこれから町がやる対策を知らせ、不安心配を取り除く内容にしていきたい。

④倒木対策について

林道藤原線については、雪による倒木のおそれがある危険木について所有者の了解が得られたので伐採(39本)、又、国庫補助緊急雇用創出基金)を利用し、平成27年2月～9月までの期間、日野沢の藤原、重木、奈良尾3地区を中心に所有者の了解をえて、道路わきの立木を伐採し、大雪に対する倒木対策をとっていきたい。

*緊急雇用創出基金

林業の人づくり事業。△、△、△、△、△(〇〇円)失業者四名を採用し、指導者一名がつき林業の仕事を指導。

事業終了後は、森林組合への雇用の可能性がある。

エアアジア機の搜索に海上保安庁でなく、なぜ自衛隊を派遣？ 危険な軍国化への道

12/28 エアアジア機が失踪。

中谷防衛大臣(自衛隊出身)は、搜索に軍艦である自衛隊の護衛艦2隻とヘリ3機に派遣命令を出した。今までは、非軍事の公船や民間船舶への対応は、海上保安庁が海難救助や治安確保に対応してきた。

小泉政権から始まった自衛隊の海外派遣の実績作り、安倍政権で海外での紛争にも自衛隊を参加させる流れを強めている。

さらに戦闘機の独自開発へ

防衛省は、三菱重工に国産戦闘機の開発を委託。高性能シーダーや武装整備する戦闘機の独自開発となると、2～30年と兆単位の開発費がかかる。

来年購入予定のF35戦闘機は一機102億円。軍事に多額の税金がつぎ込まれ、社会保障は切捨て、国民負担増の連続だ。この税金の使い方は誰を利するのか。

議員のひとりごと

常山 知子

「FELLOR」とニュージーランドに住む姪から新年のメールが届きました。南半球は今、夏。一日の気温差が激しく最低気温11度。最高気温28度(日陰はとても涼しいけれど日差しがとても強いようです。日本の7倍(暑いお正月なんて、ちょっと想像できませんね。日本はこれからまだまだ厳しい寒さが続きます。もう今から春が待ちどおしい思いです。

12月議会で、大雪に対する防災対策について質問しました。昨年2月のような大雪はもうこりこりですが、いつ降ってもおかしくない気象の変化があります。細かいところまで対策を考えておくことが、被害を最小限、未然に防ぐことができます。さあ！新しい年がスタートしました。みなさんの声を町政に届けるため、新たな気持ちでやっていきます。

大企業の内部留保を賃上げに！
原発ゼロこそ経済に展望ひらく！

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい
町議会議員 常山 知子
電話・FA 62-6733